

様式第1号（第5条）

令和 年 月 日

(宛先)
埼玉県教育委員会

学 校 受 付 欄

埼玉県国公立高等学校等専攻科の生徒への奨学のための給付金受給申請書 【早期申請用】

① 該当する申請区分に☑を付けてください。 全員記入

☐	ア 非課税世帯として申請する。
☐	イ 105,500円未満の世帯として申請する。（アの世帯を除く。）
☐	ウ 264,500円未満であり、扶養する子が3人以上いる世帯として申請する。（ア及びイの世帯を除く。）
☐	エ 家計急変世帯として申請する。

※この欄は学校が使用します。

② 埼玉県国公立高等学校等専攻科の生徒への奨学のための給付金の受給について、申請する場合、生計維持者情報を記入してください。 全員記入

生計維持者①	住所	〒 ー 埼玉県			
	連絡先	自宅		携帯	
	フリガナ		専攻科生との関係 (該当するものに○をする)	父母（父・母） ・主たる生計維持者	
	氏名			生徒本人	
生計維持者②	フリガナ		専攻科生との関係 (該当するものに○をする)	父母（父・母）	
	氏名				

③ 対象となる専攻科生について記入してください。 全員記入

フリガナ		生徒 生年月日	昭和 年 月 日 平成 年 月 日			
生徒氏名			学校の種類 課程	専攻科		
在学する 学校	名称	立	学年・組・出席 番号	年 組 番		
	所在地	都道府県 市区町村	在学期間	年 月 日～ 年 月 日		
過去在籍状況		過去在籍高等学校名	過去在籍期間	過去在籍課程等	左記学校で給付金を受給した回数	
過去に高等学校等の専攻科を卒業・退学・転学等したことが (ある)・(ない) ※「ある」場合は過去在籍校について、右欄に記入してください。		立	年 月 日 ～ 年 月 日	全日・定時・通信・ その他（ ）	なし 1回 2回 3回 4回 不明	
		立	年 月 日 ～ 年 月 日	全日・定時・通信・ その他（ ）	□ □ □ □ □ □	
					なし 1回 2回 3回 4回 不明	
					□ □ □ □ □ □	

④ 次の4点を確認の上、☑を付けてください。 全員記入

☐	・この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。
☐	・この申請書に虚偽の記載があった場合は埼玉県の求めに従いその金額を即時返還します。
☐	・私は埼玉県以外の都道府県に奨学のための給付金の申請を行っておりません。
☐	・この申請の対象となる専攻科生は児童福祉法による児童入所施設措置費（特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く））の支弁対象ではありません。

非課税世帯(①ア)・105,500円未満の世帯の世帯(①イ)・
264,500円未満かつ扶養する子が3人以上いる世帯の世帯(①ウ)の方は裏面⑤へ、
家計急変世帯の方は裏面⑦へ

⑤ 非課税世帯・105,500円未満の世帯・264,500円未満かつ扶養する子が3人以上いる世帯として申請する場合、該当するものに☑をつけてください。

非課税世帯・105,500円未満の世帯・264,500円未満かつ扶養する子が3人以上いる世帯

ア 次の者の課税証明書等を提出します。

①	☐	父母2名分
②	☐	父母1名分 ・離婚、死別、未婚等により父母が1名の場合 ・父母が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、父母の1人の課税証明書等を提出できない場合（DV、養育放棄、児童虐待）等
③	☐	生徒の生計をその収入により維持している者（主たる生計維持者）1名分 ・父母が存在しない場合
④	☐	生徒本人 父母又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合 等

**非課税世帯・105,500円未満の世帯の方は記入完了
264,500円未満かつ扶養する子が3人以上いる世帯の方は⑥へ**

⑥ 264,500円未満であり、扶養する子が3人以上いる世帯として申請する場合、理由に☑をつけ、提出する書類に○をつけてください。

ア 扶養親族数が記載された課税証明書等を提出します。

①	☐	⑤で提出した課税証明書等により、 親権者全員分の扶養親族数 を証明できる。 ※ 課税証明書等にて必ず扶養親族数が確認できる必要があります。
---	--------------------------	---

イ 扶養親族数を証明する書類を提出します。

②	☐	扶養親族数を証明する書類（必須）			扶養親族申告書
③	☐	令和7年1月1日以降、出生等により新たに扶養することになった子等がいる場合、それを証明する書類	(ア) 生計維持者の実子		出生証明書・母子手帳・戸籍抄本
			(イ) 生計維持者に委託された里子		里親委託証明書・その他
			(ウ) 生計維持者と特別養子縁組をした特別養子		特別養子縁組の確定証明書・戸籍抄本

264,500円未満かつ扶養する子が3人以上いる世帯の方は記入完了

⑦ 家計急変世帯として申請する場合、生計維持者それぞれの家計急変の理由に☑をつけ、提出する書類に○をつけてください。

家計急変世帯

（生計維持者全員分必要です。）

		家計急変前の収入額を証明する書類（必須）	直近の収入を証明する書類（必須）	扶養親族の人数を証明する書類（①ウの世帯のみ必須）	課税証明書等に記載されていない扶養親族がいる場合
生計維持者①	☐ 給与・所得の減少のため	課税証明書等	給与明細等 事業所得証明書	扶養親族申告書	出生証明書 母子手帳 戸籍抄本 里親委託証明書 特別養子縁組の確定証明書
	☐ 離職・破産のため	課税証明書等	離職票 雇用保険受給資格者証 その他（ ）	扶養親族申告書	出生証明書 母子手帳 戸籍抄本 里親委託証明書 特別養子縁組の確定証明書
	☐ 死別・離別のため	課税証明書等	（ ） ※ 書類の名前を記入してください。	扶養親族申告書	出生証明書 母子手帳 戸籍抄本 里親委託証明書 特別養子縁組の確定証明書
生計維持者②	☐ 給与・所得の減少のため	課税証明書等	給与明細等 事業所得証明書		
	☐ 離職・破産のため	課税証明書等	離職票 雇用保険受給資格者証 その他（ ）		